

春季討論集会（2013）

～分野ごとのリスク認識と管理目標の現状と課題～

主催 化学生物総合管理学会・社会技術革新学会

協賛 日本リスク研究学会

日時 2013年3月1日(金) 9:30～19:00 (受付開始 9:00)

会場 お茶の水女子大学 共通講義棟2号館 201室
(東京都文京区大塚 2-1-1 東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅 徒歩7分)

趣旨

昨年の討論集会で「化学物質、放射線などの分野ごとのリスク認識と管理基準の比較」と題して討論を行ったところ、更に議論を深めたいとの要望が強かった。そこで今年の討論集会では、更に分野を広げるとともに短期的なリスクから発がんなどの長期的なリスクまで幅広く取り上げて比較する。それぞれの分野でリスクはどう認識され、どのような目標で管理されているかを知るとともに、現状や課題を論じる。今回は、10人の講師の方々に各々の分野に関する講演をしていただき、その後討論を行う。多数の方々の参加をお願い致します。

講師

※順不同、敬称略

総合司会	増田優（お茶の水女子大学）
機械システムの分野から	向殿政男（明治大学）
消費生活用製品の分野から	長田敏（製品評価技術基盤機構）
食品の分野から	永山敏廣（東京都健康安全研究センター）
遺伝子組み換えの分野から	田部井豊（農業生物資源研究所）
放射線の分野から	丹羽太貫（京都大学、放射線審議会会長）
	甲斐倫明（大分県立看護科学大学、日本リスク研究学会会長）
化学物質の分野から	広瀬明彦（国立医薬品食品衛生研究所）
	山田隼（製品評価技術基盤機構）
ウイルス感染症の分野から	西條政幸（国立感染症研究所）
労働安全衛生の分野から	北島洋樹（労働科学研究所）

プログラムは次ページへ

参加方法

★参加登録：[事前登録制]参加費 1,000 円。

意見交換会費用は 2,000 円。

学会の会員以外の方も参加歓迎。

★参加申込：以下を明記のうえ、E-mailにてお申し込み下さい。折り返し、参加証をお送りします。

①参加者氏名 ②所属(勤務先など) ③終了後の意見交換会参加有無

[touron2013@cbims.net](mailto:touren2013@cbims.net) (春季討論集会事務局)

会場までのアクセスは、<http://www.ocha.ac.jp/access/index.html>をご覧ください（南門からの入構が便利です）。

開催要領の詳細は <http://www.cbims.net/symposium-spring-2013.html> でご確認ください。

主催 化学生物総合管理学会

<http://www.cbims.net/>

TEL & FAX : 03-5978-5096

社会技術革新学会

<http://www.s-innovation.org/>

TEL & FAX : 03-5978-5096

協賛

日本リスク研究学会

プログラム

時間予定	氏名 (敬称略)	講演演題
9:00	受付開始	
9:30	9:45 増田優 お茶の水女子大学	討論集会趣旨説明
9:45	10:25 北島洋樹 労働科学研究所	労働安全衛生分野における短期的・長期的リスクの管理 目標と課題
10:25	11:05 丹羽太貫 京都大学	福島事故が明らかにしてくれた放射線リスク管理
11:05	11:45 西條政幸 国立感染症研究所	インフルエンザウイルス感染症を例に、ヒト由来ウイルス 感染症と動物由来ウイルス感染症のリスクとその管 理を考える
11:45	12:25 広瀬明彦 国立医薬品食品衛生研究所	化学物質の健康リスク管理に適用される評価結果と不 確実性
	昼食休憩 (45分)	
13:10	13:50 永山敏廣 東京都健康安全研究センター	食品中残留農薬の安全性確保
13:50	14:30 長田敏 製品評価技術基盤機構	消費生活用製品のリスクとリスク低減方法について
14:30	15:10 田部井豊 農業生物資源研究所	遺伝子組換え農作物・食品のリスク評価の考え方
	時間調整	
15:20	16:00 山田隼 製品評価技術基盤機構	予測手法を用いたリスク評価の展望
16:00	16:40 甲斐倫明 大分県立看護科学大学	リスクの正体を伝えるリスク表現とリスクの受容性に ついて考える
16:40	17:20 向殿政男 明治大学	機械システムの短期的・長期的リスクと安全学
	討論準備	
17:30	19:00 パネル討論 (90分)	全講師の下、討論を行う
	閉会挨拶	
19:00	20:30 意見交換 (90分)	(会費制)